

「魅力ある学校」づくり 通信



この通信は、庄内地域における「魅力ある学校」づくりの検討状況を地域や保護者のみなさまへお知らせするために発行しています。

本号では、(仮称)北校の校名募集、第2・3回開校準備委員会、施設の検討状況についてお伝えします。

— (仮称)北校の校名を募集します!! —



庄内・野田・島田小学校と第六・第十中学校を再編し、平成34年度(2022年度)に開校予定の義務教育学校・(仮称)北校の校名を募集します。

2ページ目が応募用紙となっていますので、「こんな学校になってほしい!」「あんな学校になったらいいなあ」というみなさんの思いや希望のこもった校名をぜひご応募ください。

1. 募集内容

庄内・野田・島田小学校と第六・第十中学校の再編により新設する施設一体型義務教育学校の校名および校名に使いたい文字

2. 募集対象者

- ①豊中市にお住まいの方 ②豊中市内に在勤・在学の方
- ③庄内・庄内南・庄内西・野田・島田・千成小学校、第六・第七・第十中学校の卒業生の方

3. 提出方法

①応募箱への提出の場合：下記に設置している応募箱へご提出ください。

設置場所：学校教育課計画係（市役所第一庁舎6階）

庄内・庄内南・庄内西・野田・島田・千成小学校、第六・第七・第十中学校

②郵送 ③FAX ④電子メールの場合：裏面の提出先(学校教育課計画係)へご提出ください。

⑤電子申請の場合：下記URL（電子申込システム）よりお手続きください。

https://s-kantan.jp/toyonaka-city-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=517

4. 募集期間 平成30年(2018年)10月1日(月)~31日(水)(必着)

5. 留意事項(特記事項)

- ・漢字、ひらがな、カタカナは問いません。 ・数字は使用しないでください。
- ・漢字は、原則として、常用漢字を使用してください。
- ・現在の小学校名(庄内・野田・島田)と同一の校名は避けてください。
(校名の一部に地名を使用することを妨げるものではありません。)
- ・選考された校名の著作権は、豊中市教育委員会に帰属するものとします。



こちらからも!

6. 決定方法等

本公募結果を参考に、豊中市教育委員会において校名案を決定し、最終的には、豊中市議会の議決により正式決定します。

※公募結果はあくまで参考であり、多数決によって決定するものではありません。

— (仮称)北校開校準備委員会を開催しました —

第2回開校準備委員会

【日時】平成30年(2018年)6月29日(金)19時~20時30分

【場所】第十中学校 1階多目的室

【内容】・京都市立東山開晴館の視察(義務教育学校)を振り返って
・(仮称)北校の校名の検討について 他



【校名の公募に関する各委員からの意見(一部抜粋)】

- ・あまり条件はつけずに、応募者の自由な発想で考えてもらえればよいのではないか。
- ・庄内地域だけでなく、多くの人に興味を持ってもらいたい。
- ・関心度や愛着心が違うため、募集対象者は庄内地域に限定した方がよいのではないか。
- ・現在の学校名は使用しない方がよい。 ・応募箱を学校に設置する。
- ・子どもの意見を大切にしたい。 ・子どもが書きやすいように難しい漢字は避けた方がよい。
- ・地域の歴史に関係する文字や地名を入れたらよいのではないか。 ・未来性のある校名にしたい。
- ・(仮称)南校とつながりのある校名に。 ・ナンバリング(第一、第2等)は使用しない方がよい。



第3回開校準備委員会

【日時】平成30年(2018年)9月10日(月)19時~20時20分

【場所】第十中学校 1階多目的室

【内容】・(仮称)北校の校名の公募について
・(仮称)北校の標準服の検討について 他

【標準服に関する各委員からの意見(一部抜粋)】

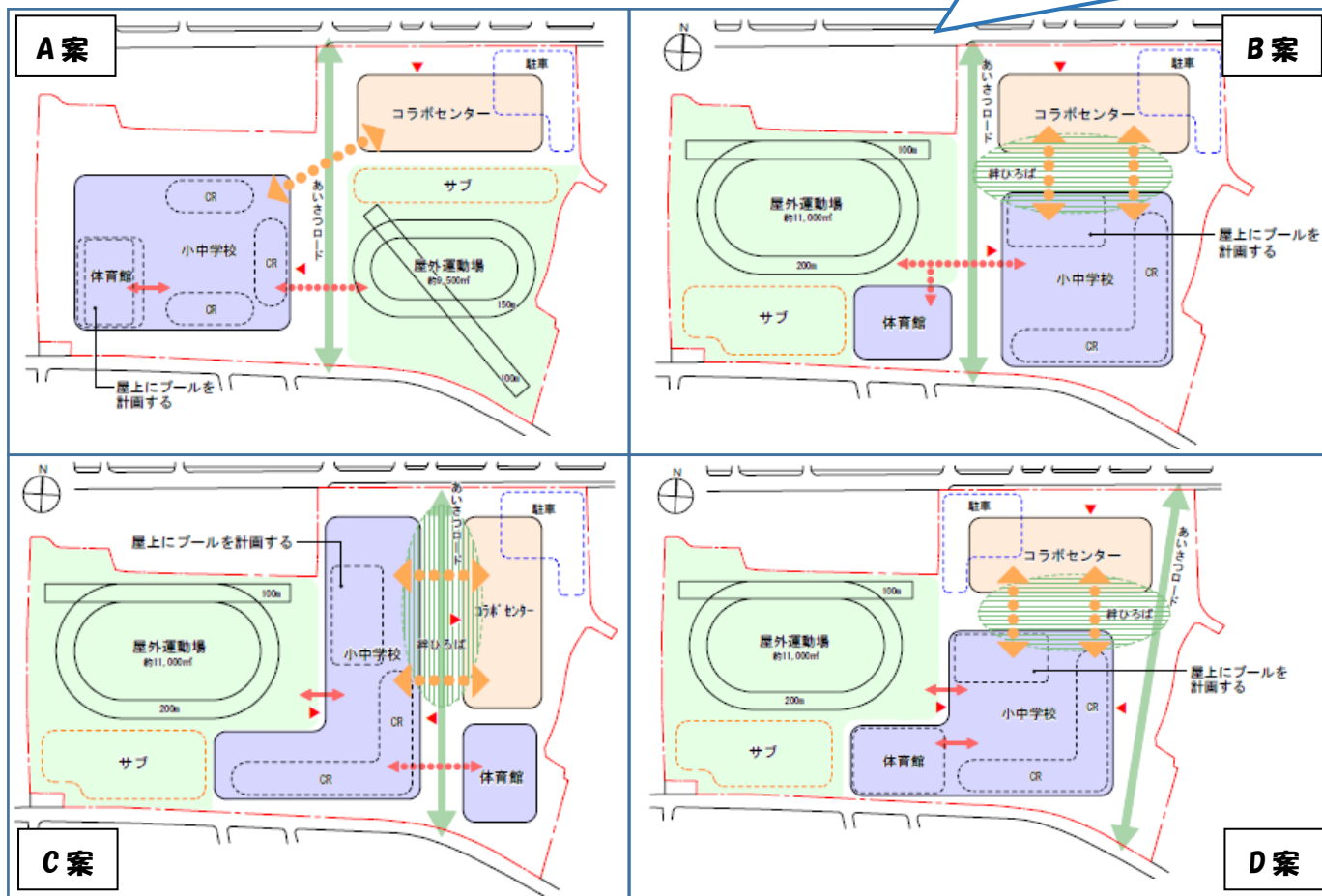
- ・新しい学校としての一体感が生まれるので、標準服はある方がよい。
- ・市内にも自由服の学校があり、標準服がないことで心配されるようなこと(ファッションが華美になる等)は、われわれの考えすぎかもしれない。子どもの個性を伸ばすことを考えなければいけない。
- ・標準服があると、地域の子どもの見分けがつく、冠婚葬祭の際に着用できる、子どもたちの気持ちがシャキッとす、上級生への憧れの気持ちが持てる、TPOに合わせて服装をきちんと着こなす経験ができる等のメリットがある。
- ・9年間の指導区分を4-3-2とするならば、成長が著しい時期は避け、5年生ぐらいからの着用がよいのではないか。
- ・1年生から4年生についても、下は紺色・上は白色など、ゆるやかな統一性を持たせたらどうか。
- ・保護者の負担になるので、経済性への配慮が必要である。
- ・1期生にはお下がりが用意できないが、リユースの仕組みを整えたい。
- ・デザインについては、子どもたちの意見を聞きたい。
- ・就学前や低学年の子どもの保護者にも意見を聞く必要があるのではないか。
- ・男女ともにズボンを選択できるようにした方がよい。

今後、標準服については、
保護者アンケート等も実施する予定としていきますので、ご協力をお願いします。



— (仮称)北校の施設に関する検討が進んでいます! —

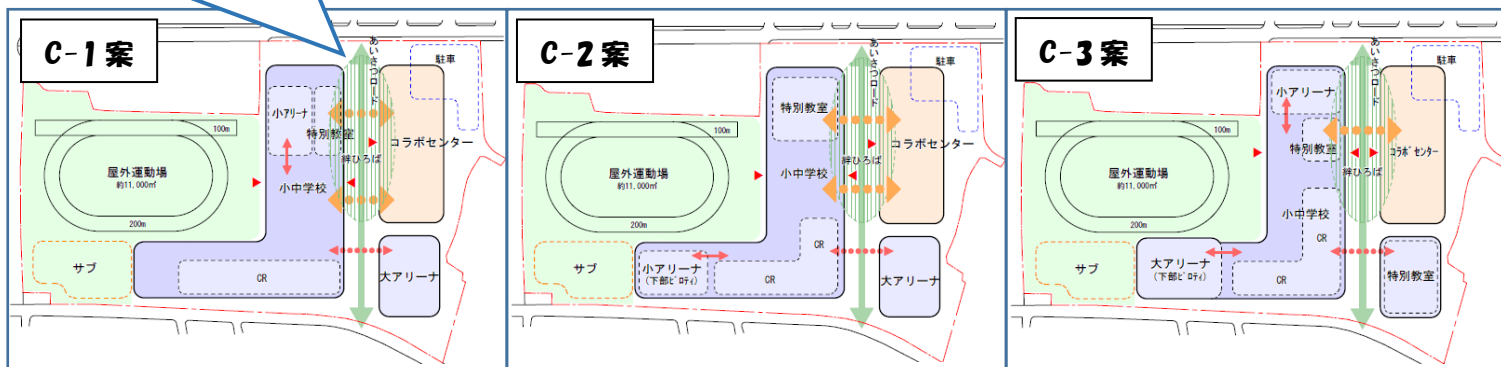
第2回ワークショップでは、施設の配置案を4パターン示しました。



第2回でのご意見を受け、第3回ワークショップでは、C案をベースにより具体的に施設の配置を考えました。

☆C案の良いところ

- ① 学校とコラボ C が連携しやすい。
- ② 北側道路に面して学校とコラボ C の顔がつけれる。
- ③ 校舎とグラウンドが一体となっている。



[(仮称)北校&(仮称)南部コラボセンターの設計に向けたワークショップ]

- 第1回「アイデアを出し合おう！」 7月28日(土) 10時~12時(終了しました)
- 第2回「アイデアを形にしていこう！」 8月25日(土) 10時~12時(終了しました)
- 第3回「形にしたらこんな感じかなあ〜」 9月22日(土) 10時~12時(終了しました)
- 第4回「やったあ〜形ができたよ〜！」 10月20日(土) 18時30分~20時30分 ※当日申込みも受け付けます。
- ワークショップ当日の様子は、市ホームページでご覧いただけます。



発行

豊中市教育委員会事務局 学校教育課

電話：06-6858-2705 F A X：06-6846-9649

E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

